

## マザーレイクフォーラムびわコミ会議運営要領

### 1. びわコミ会議の目的

琵琶湖流域に関わる多様な主体が、お互いの立場や経験、意見の違いを尊重しつつ思いや課題を共有し、琵琶湖の将来のために話し合うとともに、マザーレイク 21 計画の進行管理の一部を担い、評価・提言を行う。

### 2. びわコミ会議の名称

「びわ」は琵琶湖を指し、「コミ」は英語の コミュニティ（地域）、コミュニケーション（対話）、コミットメント（約束）、の頭文字を指す。

### 3. びわコミ会議の開催方法

#### (1) テーマと開催頻度

マザーレイクフォーラム運営委員会で設定されたテーマに基づき 1 年に 1 回開催する。

#### (2) 運営方針

びわコミ会議では、結論や合意を得ることに固執するのではなく、多様な参加者の思いや課題を共有することに主眼を置き、お互いの考えの共通点や相違点を見出し、各自ができることを考える場となることに努める。

#### (3) 発表者等

びわコミ会議での発表者等は、テーマに応じて、多様な主体がバランスよく参加できるように選定するものとする。また、職階ではなく実際に琵琶湖流域の保全に携わる実務担当者の参加を求めるものとする。

#### (4) 評価と提言

琵琶湖流域の現状を評価するため、マザーレイク 21 計画（第 2 期計画）のアウトカム指標について可能な限り値を整理し、トレンドとアウトプットとの因果関係の把握に努める。

今後の方針を提言するにあたり、できるだけ多様な代替案を検討し、優先順位をつけて対応方針や対策を提示する。

### 4. びわコミ会議の運営

びわコミ会議の企画・開催は、マザーレイクフォーラム運営委員会において処理する。

付 則

この要領は、平成 24 年 7 月 24 日から施行する。

付 則

この要領は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。